

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年4月24日(2025.4.24)

【公開番号】特開2025-61837(P2025-61837A)

【公開日】令和7年4月11日(2025.4.11)

【年通号数】公開公報(特許)2025-066

【出願番号】特願2025-11461(P2025-11461)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月16日(2025.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前面に遊技球が流下可能な遊技領域が形成され、透明性を有する遊技盤と、
前記遊技盤より遊技機後方側となる位置に配置された演出用手段と、
前記演出用手段と前後方向に重なる第1位置と、当該第1位置よりも前記演出用手段と前
後方向に重なる面積が小さくなる又は重ならない第2位置と、に変位可能な可動手段と、
を備え、

前記可動手段が前記第1位置に変位する場合に、前記演出用手段にて演出を実行可能に構
成されており、

前記可動手段が前記第1位置に変位する場合に、前記第2位置に配置される前記可動手段
と遊技機後方側に重なる所定の領域を使用して演出を実行可能に構成されており、

前記可動手段が前記第2位置に配置される状況で、前記所定の領域における表示態様の制
御を行うことが可能に構成されており、

前記可動手段が前記第1位置に変位した後の状況において、前記所定の領域を使用して演
出を実行可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0006】

本発明は、

前面に遊技球が流下可能な遊技領域が形成され、透明性を有する遊技盤と、
前記遊技盤より遊技機後方側となる位置に配置された演出用手段と、
前記演出用手段と前後方向に重なる第1位置と、当該第1位置よりも前記演出用手段と前
後方向に重なる面積が小さくなる又は重ならない第2位置と、に変位可能な可動手段と、
を備え、

前記可動手段が前記第1位置に変位する場合に、前記演出用手段にて演出を実行可能に構
成されており、

前記可動手段が前記第1位置に変位する場合に、前記第2位置に配置される前記可動手段

50

と遊技機後方側に重なる所定の領域を使用して演出を実行可能に構成されており、
前記可動手段が前記第2位置に配置される状況で、前記所定の領域における表示様態の制御を行なうことが可能に構成されており、
前記可動手段が前記第1位置に変位した後の状況において、前記所定の領域を使用して演出を実行可能に構成されていることを特徴とする。

10

20

30

40

50